

アフターサービスについて

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。

保証期間：お買い上げ日から1年間

■修理を依頼されるとき

「故障かな!?」の項目に従ってご確認ください。なおらないときには電源を切って、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。お買い上げの販売店にご依頼になれない場合には、お近くの「ご相談窓口」（別紙）へご連絡ください。

- 保証期間中は
保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理をさせていただきます。恐れ入りますが、製品に保証書を添えてお買い上げの販売店にご持参ください。
- 保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理をさせていただきます。

■補修用性能部品の保有期間

本製品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）は、製造打ち切り後6年保有しています。

修理・お取り扱いなどのご相談は...
お買い上げの販売店 または
お近くの「ご相談窓口」（別紙）へ

その他のお問い合わせは...
「お客様相談センター」へ

お客様相談センター

電話 フリーダイヤル  **0120-50-8729**
FAX **045-939-1939**
受付 9:00 ~ 17:00（土・日・祝日・弊社休日を除く）

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です。）

お買い上げ日	年	月	日	品番	CQ-DFX983D
販売店名	☎	()		—	
お客様 ご相談窓口	☎	()		—	

松下電器産業株式会社

オートモーティブアフターマーケットビジネスユニット

〒224-8539 横浜市都筑区佐江戸町600番地

YEFM283960 FD0103-0

Printed in China

Panasonic

アクティブディスプレイCDサウンドステーション

CQ-DFX983D

取扱説明書

Panasonic

アクティブディスプレイCDサウンドステーション

取扱説明書

品番

CQ-DFX983D



WMA MP3

保証書別添付

- このたびは、パナソニック カーオーディオをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
- この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと保存し、必要なときにお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

- 1DINにCD/MP3/WMAプレーヤー・FM/AMチューナー・CD/MDチェンジャー・コントロール機能、高音質50 W×4 chパワーアンプを搭載

- CD-R/RWディスク対応 ¹

「CD-R/RWディスクのご使用について」(P.38ページ)をよくお読みください。

- MP3/WMA対応

本機でMP3/WMAファイルを再生できるメディアは、CD (音楽用のCD-ROM、CD-R、CD-RWディスク)です。「MP3/WMAファイルについて」(P.24ページ)をよくお読みください。

- 漢字表示対応 ²、タイトルスクロール機能を搭載

- ・CDテキスト ³ (ディスク名・曲名)、MP3/WMAのフォルダ名・ファイル名、ID3 Tag/WMA Tag (曲名・アーティスト名)、MDディスク名・曲名 (MDチェンジャー接続時) をスクロール表示できます。

- フルドットの豊かな表現力 (3D ドットマトリックス・ディスプレイ)

- ・滑らかで美しい4階調の表現により、多彩な3D グラフィックスパターンを楽しめます。
- ・お好みで、7パターン背景画面を選ぶことができます。(P.34ページ)

- 交通情報などをボタン一つで受信できる、ダイレクトメモリー機能を搭載(P.31ページ)

- ・電源が切れているときも、どのモードからでも、ボタン一つで交通情報を受信できます。また、お好きな放送局を記憶させることができます。

- システムアップ用端子を装備

- ・ツイン (CD/MD) チェンジャーコントロール機能 (P.27、49ページ)
ツインチェンジャーコントロールユニット (CA-LA9D) を使用すれば、最大2台まで接続できます。
- ・ナビミュート機能 (P.36、50ページ)
カーナビゲーションの音声案内中に本機の音声をミュートすることができます。
- ・外部音声入力 (AUX-IN) 付き (P.30、50ページ)
テレビのステレオ音声などを聞くことができます。
- ・外部アンプと接続できるブリアウト端子 (フロント/リア) 付き (P.48ページ)

- 取りはずしのできる、デタッチャブルフェイスを採用 (P.39ページ)

- ・車から離れるときにパネルを取りはずせるので、盗難を防ぐことができます。
- ・ACC (車のアクセサリ電源) をOFFにすると、セキュリティメッセージが表示され、パネル取り忘れアラームが鳴ります。(セキュリティ機能P.36ページ)

お知らせ

接続可能なCD/MDチェンジャーは、下記の種類です。(2003年3月現在)

- ・CDチェンジャー : CX-DP801 / DP650 / DP600 / DP1205 / 1203 D
- ・MDチェンジャー : CX-MD6D

1 : CDチェンジャーは、機種によってCD-R/RWを使用できないものがあります。MP3やWMAなどには対応しておりません。

2 : MDチェンジャーは、タイトルを表示できますが、漢字/ひらがなを表示できません。

3 : CDチェンジャーは、タイトル (CDテキスト) を表示できません。

ご使用前に

特 長.....	2
安全にお使いいただくために	4
使用上のお願い	8
付属品・添付品の確認と準備	9
各部のなまえとはたらき	10

使 う

基本操作	12
● 電源ON/OFF ● 音源 (ソース) の切替 ● 音量調整	
● ミュート/アッテネータ ● 画面切替	
ラジオを聞く	14
CDを聞く	16
MP3/WMAを聞く	20
MP3/WMAファイルについて	24
チェンジャーでCD/MDを聞く	26
他の機器の音声を聞く (AUX)	30
ダイレクトメモリーを使う	31

使いこなす

いろいろな設定と調整	32
音質調整	32
画面設定	34
機能設定	36

必要なときに

ディスクの取り扱いについて・お手入れのしかた	38
パネルを脱着する	39
故障かな!?	40
取り付け・配線の前に	46
取り付けかた	47
配線のしかた	48
仕 様	51
アフターサービスについて	裏表紙

安全にお使いいただくために

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

- 表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は、絵表示の一例です。)

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

運転者は走行中に操作をしない
また、画像・表示を注視しない

-  **禁止**
- 走行中の操作や画像・表示の注視は、前方不注意による交通事故の原因になります。
必ず安全な場所に停車させてから操作してください。

取り付け・アース配線等に、
保安部品を絶対に使わない

-  **禁止**
- 保安部品(ステアリング・ブレーキ系統・タンクなど)のボルト・ナット・ビスを使用すると、事故の原因になります。説明に従い、付属品や指定の部品を使用してください。

DC12V⊖アース車で使用する

-  **注意**
- 本機はDC12V⊖アース車専用です。DC24V車(大型トラック、寒冷地仕様のディーゼル車など)には使用できません。
火災や故障の原因になります。

配線・取り付け作業中は、
バッテリーの⊖端子を必ずはずす

-  **注意**
- バッテリーの⊖端子をつないだまま配線・取り付け作業をすると、ショート事故による感電やけがの原因になります。

必ずお守りください

警告

故障や異常のまま使用しない

-  **禁止**
- 万一、故障(画像が映らない、音が出ないなど)や異常(異物が入った・水がかかった・煙が出る・異臭がするなど)が起こった場合は、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」(別紙)に相談してください。
そのまま使用を続けると、事故や火災・感電の原因になります。

リモコンを放置しない

-  **禁止**
- 運転中に足下へ転がってブレーキペダルなどの下へ入り込むと、運転を妨げて交通事故の原因になります。

分解・修理、および改造をしない

-  **分解禁止**
- 分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのはやめてください。火災・感電、故障の原因になります。

必ず規定容量のヒューズを使用する
また、交換は専門技術者に依頼する

-  **注意**
- 規定容量を超えるヒューズを使用すると、発煙・発火、故障の原因になります。ヒューズの交換や修理は、お買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」(別紙)に依頼してください。

コード類は、運転や乗り降りの
妨げにならないように引き回す

-  **注意**
- ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル・足などに巻き付かないように引き回し、まとめたり固定しておくなどしてください。事故やけがの原因になります。

指定に従って設置・配線する

-  **注意**
- 説明に従って正しく設置・配線しないと、事故や火災の原因になります。

電池は乳幼児の手の届かない
ところに保管する

-  **注意**
- 事故の原因になります。
万一飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

MP3ファイル以外のファイルに、
拡張子「.MP3」を付けない

WMAファイル以外のファイルに、
拡張子「.WMA」を付けない
<ファイル作成時>

-  **禁止**
- MP3/WMAファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出て、耳に障害を与えたり、スピーカーなどを破損する原因になります。

⚠ 注意

配線・取り付けは、専門技術者に依頼する



配線・取り付けには専門技術と経験が必要です。
安全のため、必ずお買い上げの販売店に依頼してください。

必ず付属品や指定の部品を使用する



指定以外の部品を使用すると、機器の内部を損傷したり、しっかり固定できずにはずれるなど、事故や故障、火災の原因になることがあります。

水のかかる場所、湿気や埃の多い場所で使用しない



禁止

発煙・発火・感電・故障の原因になることがあります。
特に洗車や雨のときなどに、水がかからないようにしてください。

機器内部に異物を入れない



禁止

内部に金属物や燃えやすいものなどが入ると、ショートや絶縁不良で発熱し、火災や感電、故障の原因になります。特に乳幼児にご注意ください。

可動部やディスク挿入口に手・指を入れない



禁止

手や指を挟まれるなど、けがの原因になることがあります。
特に乳幼児にご注意ください。

コードを破損しない



禁止

断線やショートにより、感電や火災の原因になることがあります。
・車体やねじ・可動部（シートレールなど）への挟み込みで破損しないように引き回す。
・傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、熱器具へ近づける、重いものをのせるなどしない。

本機の通風孔や放熱板をふさがない



禁止

内部に熱がこもり、発火や故障の原因になることがあります。

適正な音量で使用する



車外や周囲の音が聞こえない状態での運転は、事故の原因になることがあります。

特殊形状のCDやCDアクセサリは使用しない



禁止

特殊形状（ハート型・八角形・カード型など）のCDやプロテクトフィルム・スタビライザーなどのCDアクセサリを使用すると故障の原因になります。

シール・ラベル・テープなどを貼り付けたCDは使用しない



禁止

本機の中で引っかかるなど、故障の原因になることがあります。
特に市販のプリンターで作成したラベルなどを貼り付けたCD-R/RWは、使用しないでください。

⚠ 注意

電池は正しく使う



破裂や液もれにより、火災やけが、周囲を汚染する原因になることがあります。

- ・指定の電池以外は使用しない。
- ・⊕⊖を電池ケースの表示に合わせる。
- ・使いきった電池は、すぐに交換する。
- ・リモコンを長時間使用しないときは、電池を取り出しておく。
- ・充電・分解・変形・加熱、火や水の中に入れる、金属物と接触させるなどしない。
- ・電池を廃棄、または保管するときは絶縁する。（ポリ袋に入れる、テープなどを巻く）
- ・著しく温度が高くなるところに電池や電池の入ったリモコンを放置しない。（窓を閉めきった車や車のトランクの中、直射日光のあたるところ、ヒーターの近くなど）

電池を廃棄する場合は

- ・地方自治体の条例などに従って処理してください。

使用上のお願い

他の機器と接続する場合は

- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みになり、正しく配線してください。

携帯電話を使用する場合は

- 携帯電話を置く位置や向きによっては、雑音が生じることがあります。
できるだけ本機から離してお使いください。

本機の取り扱いについて

車載用以外には使用しないでください

- 車載用以外(例えばレジャーボートやアウトドアなど)に使用すると、発煙・発火、感電やけが・故障の原因になる場合があります。

免責事項について

- 火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害(事業利益の損失、記憶内容の変化・消失など)に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 商品に添付の保証書は、本製品を業務用の車両(バス・タクシー・商用車など)に使用した場合、適用対象にはなりません。

付属品・添付品の確認と準備

付属品

万一不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

配線・取り付け用の部品は、46ページをご覧ください。

リモコン 1個



パナソニック
リチウム電池
(CR2025)1個



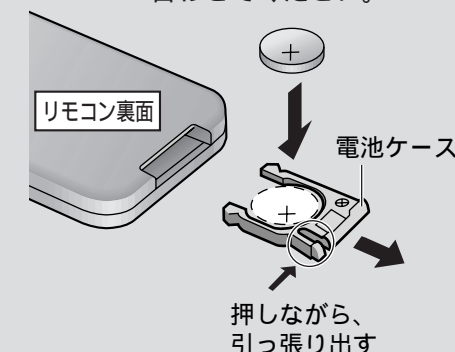
添付品

- 取扱説明書(本書).....1
- 保証書.....1
- お客様ご相談窓口一覧表.....1

リモコンに電池を入れる

1 電池ケースを出して、電池をのせる

⊕面を電池ケースの表示に
合わせてください。



2 電池ケースを入れる

奥まで差し込んでください。

電池について

- 使用電池：
パナソニックリチウム電池(CR2025)
- 電池寿命：
通常の使用状態(常温時)で約6カ月

取り扱いの注意書き(7ページ)を、
よくお読みください。

ご使用前に

使用上のお願い / 付属品・添付品の確認と準備

各部のなまえとはたらき

本 体

ソース パワー
SOURCE、PWR

- 音源(ソース)を選ぶ
- 電源を入れる/切る

ミュート アッテネータ スーパー・ハイディフィニションパス

MUTE (ATT)、S・HDB

- 一時的に音量を下げる(ミュート/アッテネータ)
- 低音域を増強する

ディマー

DIM

- バックライトの明るさを選ぶ

バンド セット オートプリセットメモリー ボース/プレイ

BAND、SET / A P M、II/▶

- バンドを選ぶ
- ランダム・リピート再生のON/OFFを切り替える(再生メニュー時)
- 画面設定の項目を決定する
- 機能設定の項目を切り替える
- 放送局を自動で探し、記憶させる
- 一時停止・再生する(CD/MP3/WMAのみ)
- 2台のチェンジャーを切り替える
- タイトルをスクロールさせる

メニュー

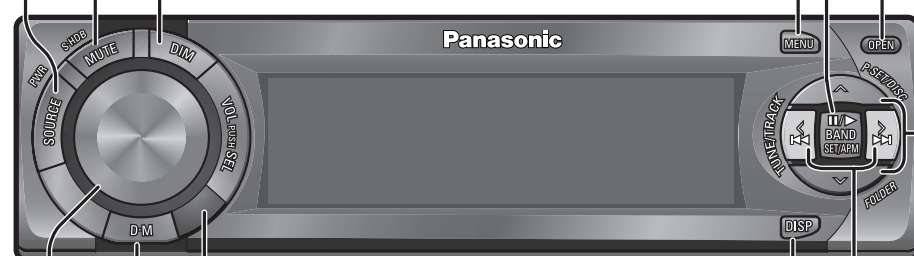
MENU

- メニューを表示させる

オープン

OPEN

- パネルを開ける



リモコン受光部

ダイレクトメモリー

D・M

- 交通情報などを受信する
- ダイレクトメモリーに放送局を記憶させる

ボリューム セレクト

VOL、SEL



回す



押す

- 音量を調整する
- 音質調整の項目を調整する

- 音質調整の項目を選ぶ

チューン

TUNE < >

トラック

TRACK ◀ ▶

- 周波数/曲/ファイルを選ぶ
- メニューを選ぶ
- 画面設定の項目を選ぶ
- 早戻し/早送りする

プリセット

P・SET

ディスク

DISC

フォルダ

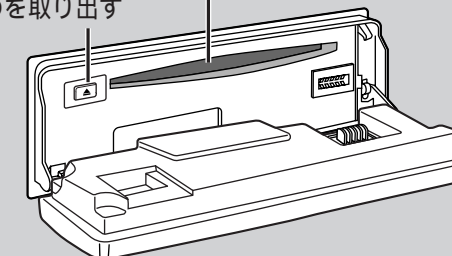
FOLDER

- 放送局を記憶させる/呼び出す
- ディスクを選ぶ
- フォルダを選ぶ
- 再生メニューの項目を選ぶ
- 画面設定/機能設定の項目を選ぶ
- 時/分を調整する(時計調整時)

本体のパネル開口部

▲ (イジェクト) CD挿入口

- CDを取り出す



リモコン

本体のリモコン受光部へ向けて操作してください。

ミュート アッテネータ スーパー・ハイディフィニションパス

MUTE (ATT)、(S・HDB)

- 一時的に音量を下げる(ミュート/アッテネータ)
- 低音域を増強する

ソース

POWER

- 音源(ソース)を選ぶ
- 電源を入れる/切る

0~9 (10キー)

- ダイレクト選択(番号入力)する
- 放送局を記憶させる/呼び出す...「1~6」
- ID3 Tagの文字コードを切り替える(MP3のみ).....「3」
- 順不同に聞く(RAND).....「4」
- 曲を探す(SCAN).....「5」
- 繰り返し聞く(REP).....「6」
- 再生メニューの項目を選ぶ
- フォルダを選ぶ
- ディスクを選ぶ
- 画面設定/機能設定の項目を選ぶ
- 時/分を調整する(時計調整時)
- 周波数/曲/ファイルを選ぶ
- メニューを選ぶ
- 画面設定の項目を選ぶ
- 早戻し/早送りする

- 再生メニューの項目を選ぶ
- フォルダを選ぶ
- ディスクを選ぶ
- 画面設定/機能設定の項目を選ぶ
- 時/分を調整する(時計調整時)
- 周波数/曲/ファイルを選ぶ
- メニューを選ぶ
- 画面設定の項目を選ぶ
- 早戻し/早送りする

- 再生メニューの項目を選ぶ
- フォルダを選ぶ
- ディスクを選ぶ
- 画面設定/機能設定の項目を選ぶ
- 時/分を調整する(時計調整時)
- 周波数/曲/ファイルを選ぶ
- メニューを選ぶ
- 画面設定の項目を選ぶ
- 早戻し/早送りする

バンド セット オートプリセットメモリー ボース/プレイ

BAND、SET、(A P M) (II/▶)

- バンドを選ぶ
- ダイレクト選択を決定する
- ランダム・リピート再生のON/OFFを切り替える(再生メニュー時)
- 画面設定の項目を決定する
- 機能設定の項目を切り替える
- 放送局を自動で探し、記憶させる
- 一時停止・再生する(CD/MP3/WMAのみ)
- 2台のチェンジャーを切り替える
- タイトルをスクロールさせる

セレクト

メニュー

SEL、MENU

- 音質調整の項目を選ぶ
- メニューを表示させる

ボリューム

VOL ▲ ▼

- 音量を調整する
- 音質調整の項目を調整する

ナンバー

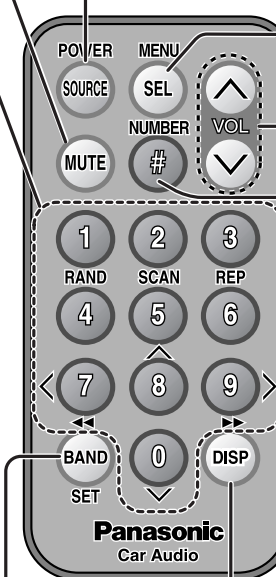
(NUMBER)

- ダイレクト選択モードにする(曲/ファイル/フォルダ/ディスク)

ディスプレイ

DISP

- 画面を切り替える
- タイトルを表示させる



後面の端子については、「配線のしかた」をご覧ください。(P.48ページ)



準備 車のエンジンをかける
(「ACC ON」でも可)

電源を入れる/切る

- ON (入): 押す
- OFF (切): 1秒以上押す

はじめて電源を入れたときは
デモンストレーションが表示されます。
解除してから、ご使用ください。
→ **DISP** を押す

お知らせ

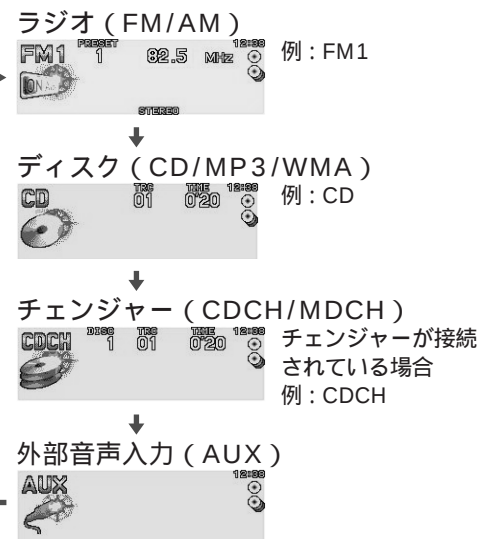
- 電源を入れるときにボタンを4秒以上押すと、デモンストレーションが表示されます。(本体操作のみ)
- ACC (車のアクセサリ電源) をOFFにすると、セキュリティメッセージが表示され、パネル取り忘れアラームが鳴ります。(セキュリティ機能がONの場合 36ページ)
- 電源が切れているときにディスク (マガジン) を入れると電源が入り、再生が始まります。

音源 (ソース) を切り替える

電源が入っているときに

SOURCE を押す

- 押すごとに切り替わります。



音量を調整する



初期設定: 18
調整範囲: 0 ~ 40

- ソースごと (ラジオはAM・FMごと) に記憶されるので、ソースを切り替えると音量も変わります。(インテリジェントボリューム)

一時的に音量を下げる (ミュート/アッテネータ)

MUTE を押す

- 再度押すと、解除されます。
- 音量の下がりかたは、機能設定によって異なります。(初期設定: MUTE 36ページ)

- ミュート
- MUTE: 0になる (消音)

MUTE

- アッテネータ
- ATT: 10ステップ下がる

ATTENUATION

画面を切り替える

DISP を押す

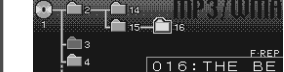
- 押すごとに切り替わります。

電源が入っているとき

モード¹
(タイトル表示なし)



フォルダ階層
(MP3/WMAのみ)



モード・背景



背景



モード・時計



消灯 (モード画面表示中)



パネル全体の照明も消灯されます。

電源が入っていないとき

時計ON



時計OFF

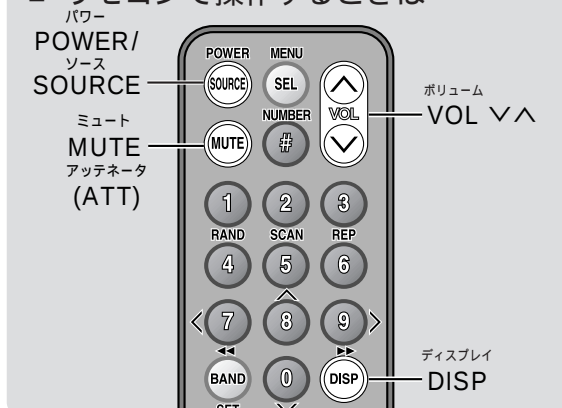
パネル全体の照明も消灯されます。

お知らせ

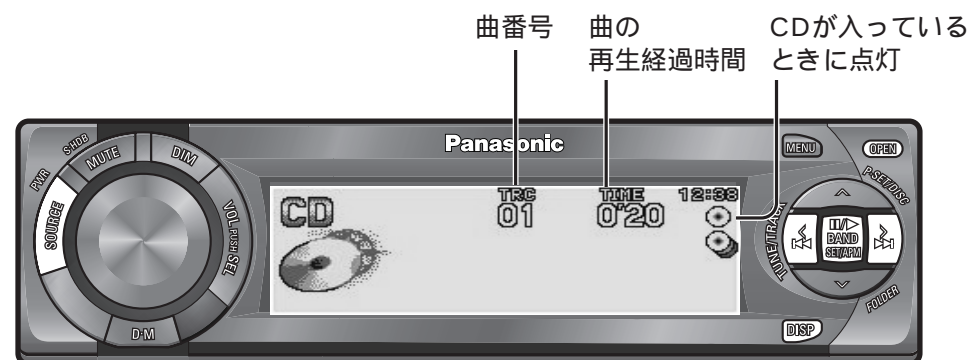
- 時計は24時間表示です。
- 時計が未調整のときは、**ADJUST** と表示されます。(時計調整 34ページ)
- 背景画面は、別途選択できます。(34ページ)

1: CD/MP3/WMA/MDチェンジャーは、タイトル情報を表示できます。(17、22、28ページ)

リモコンで操作するときは



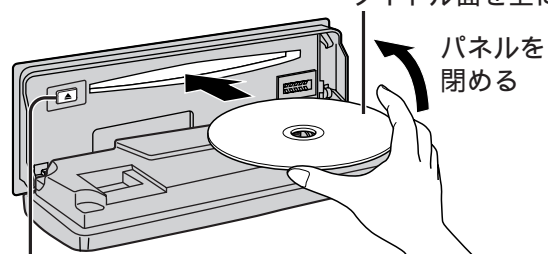
CDを聞く



CDを入れるには

が点灯していないことを確認してください。

- 1 **OPEN** を押して、パネルを開ける
- 2 CDを入れて、パネルを閉める
 - CDを入れると、再生が始まります。
 - CDのデータを識別するまでに時間がかかる場合があります。 タイトル面を上



CDを取り出すには

- △** を押す
- CDが出てくる動作が完全に止まってから引き抜いてください。

CDが入っているときは

- 1 **SOURCE** を押して、**ディスクモード(CD)**にする
 - 再生が始まります。

「NO DISC」と表示されたときはCDを入れてください。

- 2 **⏮** または **⏭** を押して、**曲を選ぶ**

早戻し/早送りするには0.5秒以上押し続ける

• 押し続けている間、早戻し/早送りされます。

再生できるディスクは通常の音楽CDおよび音楽CDの形式(CD-DA)で記録されたCD-R/RWです。

お願い

「ディスクの取り扱いについて」(P38ページ)をよくお読みください。

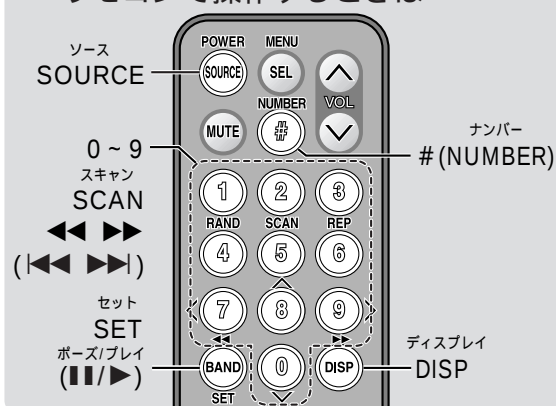
- 特殊形状のCDやCDアクセサリは使用しない。
- シール・ラベル・テープなどを貼り付けたCD(特に市販のプリンターで作成したラベルなどを貼り付けたCD-R/RW)は使用しない。

- パネルの開閉を妨げたり無理な力を加えたりしないでください。
- シングルアダプターを使用しないでください。8 cm CDは、アダプターなしで再生できます。
- 再生中は必ずパネルを閉めてください。

お知らせ

- CD-R/RWは、使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって正常に再生されなかったり、文字などが正しく表示されない場合があります。

■ リモコンで操作するときは



いろいろな再生

一時停止する (ポーズ)

BAND/PM を押す

- 再度押すと、解除されます。



曲を番号で選び 再生する (ダイレクト選択)

リモコン操作のみ

- 1 **NUMBER** を押す

- ダイレクト選択モードになります。

- 2 **10**キーで曲番号を入力する
例) 曲番号10: **1** **0** を押す

- 3 **BAND SET** を押して決定する

- 選んだ曲の再生が始まります。



お知らせ

- ダイレクト選択モードを終了するには **DISP** を押す

曲を探す (スキャン)

各曲を約10秒ずつ再生する

リモコン操作のみ

- 1 **SCAN** を押す

- 再度押すと、解除されます。

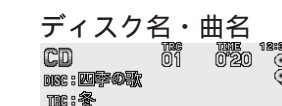
(**SCAN** が点灯します。)

- 1周すると解除されます。(もとの曲の先頭に戻る。)

タイトルを 表示させる

モード画面表示中に
DISP を2秒以上押す

- 2秒以上押すごとに切り替わります。



タイトルをスクロールさせるには

タイトル表示中に

BAND/PM を2秒以上押す

- 1周スクロールします。

「NO TEXT」と表示されたときは

タイトル情報が記録されていません。

タイトル表示について

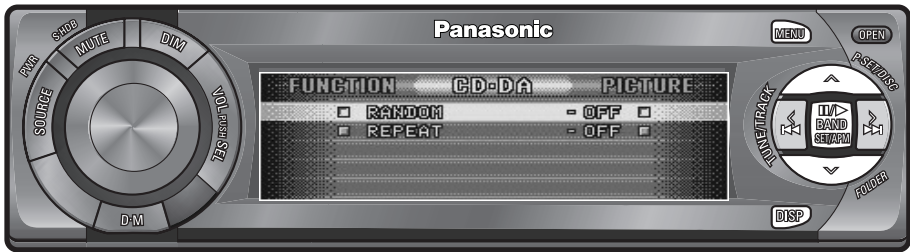
- タイトル(テキスト)情報は、漢字・かな・カナ・英数字を表示できます。
- スクロール時で、最大全角32文字/半角64文字表示できます。
- 正しく表示できない文字は、*(アスタリスク)表示になります。

CDは、CDテキスト (CDに記録されているタイトル情報)を表示させることができます。



左のマークがついたディスクなど

CD再生メニューを使う（ランダム・リピート）



- 1

CD再生中に、
MENU を押す
- 2

↑ または ↓ で
項目を選ぶ
- 3

▶▶ で
ON/OFFを切り替える

• CD再生メニューが表示されます。

リモコンの場合は 2秒以上押す

順不同に聞く (ランダム)	RANDOM	ON (が点灯します。) OFF
繰り返し聞く (リピート) 再生中の曲を繰り返し再生する	REPEAT	ON (が点灯します。) OFF

リモコンでのダイレクト操作

CD再生メニューを終了してから操作してください。

を押す

• 再度押すと、解除されます。

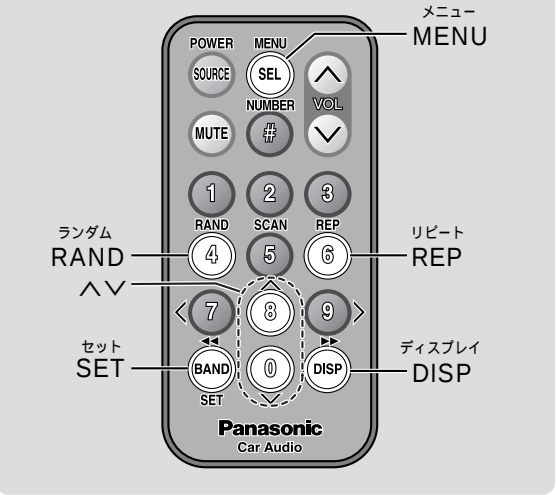
を押す

• 再度押すと、解除されます。

お知らせ

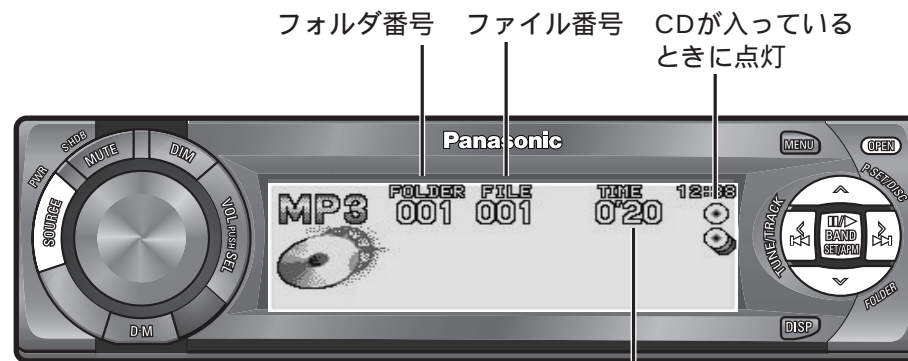
- CD再生メニューを終了するには
 または を押す
(リモコンの場合は を2秒以上押す。)
- CD再生メニューが表示されているときは、再生中のソースの操作ができません。
終了してから行ってください。
- スキャン再生(曲を探す)は、リモコンで操作してください。(P.17ページ)

■ リモコンで操作するときは



MP3/WMAを聞く

• CDの出し入れについては、16ページをご覧ください。



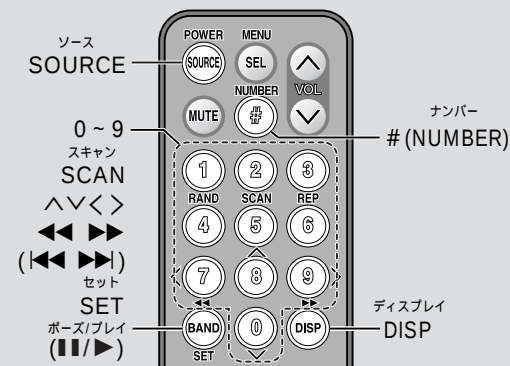
CDが入っているときは

1 を押して、**ディスクモード (MP3/WMA) にする**
• 再生が始まります。

2 または を押して、**フォルダを選び**

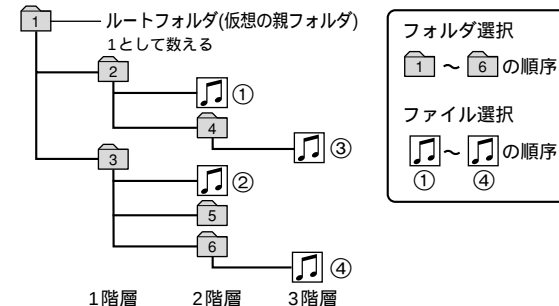
3 または を押して、**ファイルを選ぶ**
早戻し/早送りするには0.5秒以上押し続ける
• 押し続けている間、早戻し/早送りされます。

■ リモコンで操作するときは



再生できるディスクは、CD (音楽用のCD-ROM、CD-R/RW)です。

階層と再生順序のイメージ (例)



お知らせ

- 本機では、フォルダの中にMP3/WMAファイルがなくても、一つのフォルダとして数えます。選択した場合には、再生順で一番近いフォルダを検索して再生します。
- ライティングソフトがフォルダやファイルの位置を並べ替えることがあるため、希望の再生順序にならない場合があります。
- 再生の順序は、同一のCDでも、使用する機器 (プレーヤー) によって異なる場合があります。
- 使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって正常に再生されなかったり、文字などが正しく表示されない場合があります。

「MP3/WMAファイルについて」 (24ページ) をよくお読みください。

いろいろな再生

一時停止する (ポーズ)

を押す

- 再度押すと、解除されます。

ファイル/フォルダを番号で選び再生する (ダイレクト選択)

リモコン操作のみ

1 を押す

- ダイレクトファイル選択モードになります。

2 10キーでファイル番号を入力する
例) ファイル番号10: を押す

3 を押して決定する

- 選んだファイルの再生が始まります。

1 を2回押す

- ダイレクトフォルダ選択モードになります。

2 10キーでフォルダ番号を入力する
例) フォルダ番号15: を押す

3 を押して決定する

- 選んだフォルダの先頭のファイル (1曲目) から再生が始まります。

お知らせ

- ダイレクト選択モードを終了するには を押す
- ダイレクトファイル選択モード時に を押すと、ダイレクトフォルダ選択モードになります。
- 選んだフォルダにファイルがない場合は、「CD E4」と表示されます。
→ ファイルがあるフォルダを選んでください。

ファイル/フォルダを探す (スキャン)

再生時と同じ順序でスキャンします。 (25左ページ)

リモコン操作のみ

を押す

(が点灯します。)

- 各ファイルを約10秒ずつ再生します。
- 再度押すと、解除されます。

1周すると

- 解除されます。(もとのファイルの先頭に戻る。)

を2秒以上押す

(が点灯します。)

- 各フォルダの先頭のファイルを約10秒ずつ再生します。
- 再度2秒以上押すと、解除されます。

1周すると

- 解除されます。(もとのフォルダの先頭のファイルに戻る。)

タイトルを表示させる

- フォルダ名・ファイル名
- 曲名・アーティスト名 (ID3 Tag/WMA Tag)

モード画面表示中に
DISP を2秒以上押す

- 2秒以上押すごとに切り替わります。

例: MP3
フォルダ名・ファイル名
MP3 001 001 0:20
FOLDER: ROOT
FILE: 日本

↓
曲名・アーティスト名 (ID3 Tag)
MP3 001 001 0:20
TITLE: 冬の
ARTIST: いるは合唱団

↓
タイトル表示なし
MP3 001 001 0:20

タイトルを
スクロールさせるには
タイトル表示中に

IV BAND SET/PM を2秒以上押す

- 1周スクロールします。

「NO TEXT」と表示された
ときは
タイトル情報が記録されて
いません。

ID3 Tagの 文字コードを 切り替える

文字化けなどで読めない
場合に切り替えてください。

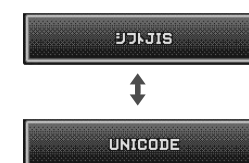
リモコン操作のみ

MP3のみ

曲名・アーティスト名 (ID3 Tag) 表示中に

③を押す

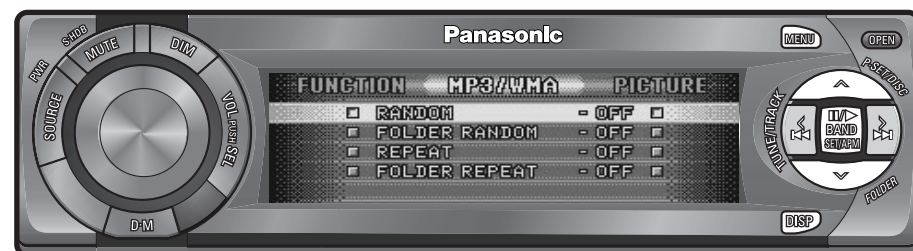
- 押すごとに切り替わります。



タイトル表示について

- 1階層目の (ルートフォルダの中にある) ファイルを再生しているときは、フォルダ名に「ROOT」と表示されます。
- 表示できる文字種・文字数については、MP3/WMA対応表をよくお読みください。(P.25ページ)

MP3/WMA再生メニューを使う (ランダム・リピート)



- 1 MP3/WMA再生中に、MENU を押す
- 2 項目を選ぶ
- 3 ON/OFFを切り替える

- MP3/WMA再生メニューが表示されます。

リモコンの場合はSELを2秒以上押す

順不同に聞く (ランダム)	全ての ファイル	RANDOM	ON (RAND が点灯します。) OFF
	再生中の フォルダ	FOLDER RANDOM	ON (F-RAND が点灯します。) OFF
繰り返し聞く (リピート)	再生中の ファイル	REPEAT	ON (REP が点灯します。) OFF
	再生中の フォルダ	FOLDER REPEAT	ON (F-REP が点灯します。) OFF

リモコンでのダイレクト操作

MP3/WMA再生メニューを終了してから操作
してください。

RAND ④を押す

- 再度押すと、解除されます。

RAND ④を2秒以上押す

- 再度2秒以上押すと、解除されます。

REP ⑥を押す

- 再度押すと、解除されます。

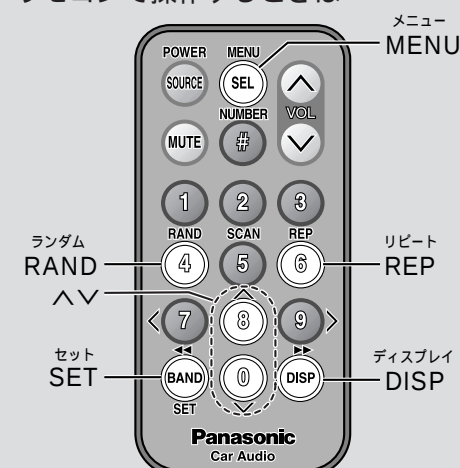
REP ⑥を2秒以上押す

- 再度2秒以上押すと、解除されます。

お知らせ

- MP3/WMA再生メニューを終了するには
MENU または DISP を押す
(リモコンの場合はSELを2秒以上押す。)
- MP3/WMA再生メニューが表示されているときは、再生中のソースの操作ができません。
終了してから行ってください。
- スキャン再生 (ファイル/フォルダを探す) は、
リモコンで操作してください。(P.21ページ)

■ リモコンで操作するときは



MP3/WMAファイルについて

■MP3とは？

MP3（MPEG Audio Layer 3の略）は、音声圧縮技術に関するフォーマットです。人間の耳に聞こえない音域や大きい音に埋もれて聞こえない音声を削り取る処理などにより、音質を保ったまま圧縮できます。もとのファイルを約1/10のサイズに圧縮できるので、1枚のディスクに音楽CD10枚分に相当する音楽ファイルを書き込めます。（「ビットレート128 kbps、サンプリング周波数44.1 kHz」でMP3ファイルに変換し、容量650 MBのCD-R/RWに書き込んだ場合）

■WMAとは？

WMA（Windows Media Audioの略）は、米国マイクロソフト社が開発した、音声圧縮技術に関するフォーマットです。MP3とほぼ同等の音質を保ちながら、MP3の約半分のファイルサイズで作成できます。また、WMAは著作権保護機能（DRM）を備えており、本機は著作権保護されているWMAファイルを再生できません。

●1曲分のファイルサイズ比較

ファイル形式	容 量	圧縮率
MP3 128 kbps （CD音質並）	約6 MB	約1/10
WMA 64 kbps （CD音質並）	約3 MB	約1/20

■再生できるフォーマットは？

ISO9660レベル1/レベル2、Joliet/Romeo（拡張フォーマット）、ISO9660アップル拡張フォーマットに準拠しているCD-R/RWが再生できます。

●UDF、Apple HFSには、対応していません。

●ISO9660フォーマットとは？

ファイルおよびフォルダに関する論理フォーマットです。（国際標準規格）ISO9660フォーマットには、次のような文字数制限などがあります。詳しくは、ライティングソフトの説明書をご覧ください。

レベル	ファイル名	フォルダ名
レベル1	8.3形式 （半角英 大文字、半角数字、「_」で8文字以下＋拡張子）	最大半角8文字以下 （拡張子不可）
レベル2	最大半角31文字（拡張子含む）	最大半角31文字

●拡張フォーマットとは？

Joliet/RomeoはWindows上で、ISO9660アップル拡張はMacintosh上で使うための、ファイルおよびフォルダに関する論理フォーマットです。これらには、次のような文字数制限などがあります。詳しくは、ライティングソフトの説明書をご覧ください。

名 称	ファイル名/フォルダ名
Joliet	最大半角64文字、8.3形式併用（拡張子含む）
Romeo	最大半角128文字（拡張子含む）
ISO9660 アップル拡張	最大半角31文字（拡張子含む）

■著作権について

音楽などの著作物を個人的に楽しむ場合などを除き、著作権利権者の許諾を得ないでディスクに複製（録音）配付、配信することは著作権法で禁止されています。

■MP3/WMA対応表

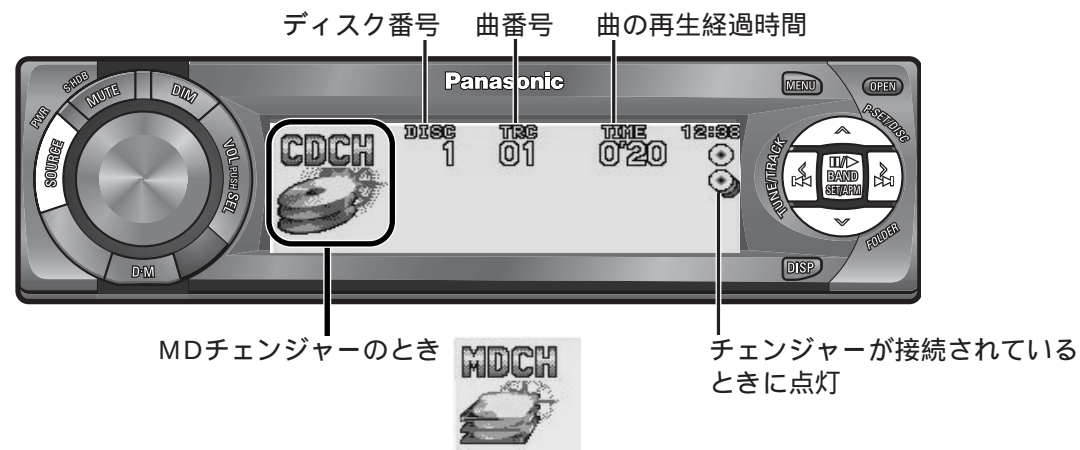
CD-ROM フォーマット	ISO9660レベル1/レベル2、Joliet/Romeo（拡張フォーマット）、ISO9660アップル拡張規格に準拠していない場合には、正常に再生されなかったり、文字などが正しく表示されない場合があります。	
サンプリング 周波数	・MPEG 1 Layer 3：32 kHz、44.1 kHz、48 kHz ・MPEG 2 Layer 3：16 kHz、22.05 kHz、24 kHz ・WMA：32 kHz、44.1 kHz、48 kHz	
ビットレート	・MPEG 1 Layer 3：32 kbps～320 kbps ・MPEG 2 Layer 3：8 kbps～160 kbps ・WMA：64 kbps～192 kbps	VBR（可変ビットレート）で変換した場合は、再生できないことがあります。
ファイル数	最大999（フォルダあたり：最大255）	
フォルダ数	最大255（ルートフォルダ含む）	
フォルダ階層	最大8階層（ルートの階層を含む）	
再生順序	階層順	
ID3 Tag	Ver. 1.0/1.1/2.0（曲名・アーティスト名のみ）	
WMA Tag	曲名・アーティスト名のみ	
表示可能文字種	全角 漢字・ひらがな・カタカナ・英数字、半角 英数字・カタカナ 一部の記号や言語など、正しく表示できない文字は、*（アスタリスク）表示になります。	
表示可能文字数 拡張子は表示は されません。 スクロール時	フォルダ名/ファイル名	・Joliet: 最大32文字 ・Romeo: 最大全角32文字 / 半角64文字
	ID3 Tag	・UNICODE: 最大32文字 ・シフトJIS: 最大32文字（ASCII: 最大64文字）
	WMA Tag	・UNICODE: 最大32文字

お知らせ

- 本機にはエンコーダソフト、およびライティングソフトは付属されておりません。
- 再生時の音質は、変換時の条件などにより異なります。詳しくは、エンコーダソフトの説明書をご覧ください。
- マルチセッションで書き込まれたディスクや、形式の異なるデータが混在しているディスク（Mixed Mode CD、CD-Extra、CD-DA・MP3・WMAが混在したディスクなど）は、正常に再生できない場合があります。また、パケットライト方式で書き込まれたディスクは正常に再生できないことがあります。書き込みには、ディスクアットワンスをおすすめします。
- 使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって、正常に再生されなかったり、文字などが正しく表示されない場合があります。また、ディスクの書き込み状態が悪いと、音が途切れたり、雑音が発生する場合があります。
- MP3ファイルには、必ず拡張子「.mp3（.MP3）」を、WMAファイルには拡張子「.wma（.WMA）」を付けてください。他の拡張子を付けた場合や、拡張子を付けなかった場合は、ファイルを再生できません。
- 多くの階層や複雑な構成のディスクは、再生が始まるまでに時間がかかる場合があります。MP3/WMA以外のファイルや必要のないフォルダなどは、書き込まないようにしてください。
- 書き込み時にライティングソフトがフォルダやファイルを並べ替えることがあるため、希望の再生順序にならない場合があります。また、同じディスクでも、再生する機器によって再生順序が異なる場合があります。ファイル名の先頭に3ケタの数字「001」～「255」（または2ケタの数字）を入力することで、再生順序を設定できる場合もあります。
- M3Uプレイリスト、MP3 PROには対応していません。

チェンジャーでCD/MDを聞く

準備 CDチェンジャー・MDチェンジャーを接続し、マガジン（ディスク）を入れてください。



1 を押して、チェンジャーモード (CDCH/MDCH) にする

- 再生が始まります。

「NO DISC」と表示されたときはディスクが入ったマガジンを入れてください。

2 または を押して、ディスクを選び

3 または を押して、曲を選ぶ

早戻し/早送りするには0.5秒以上押し続ける

- 押し続けている間、早戻し/早送りされます。

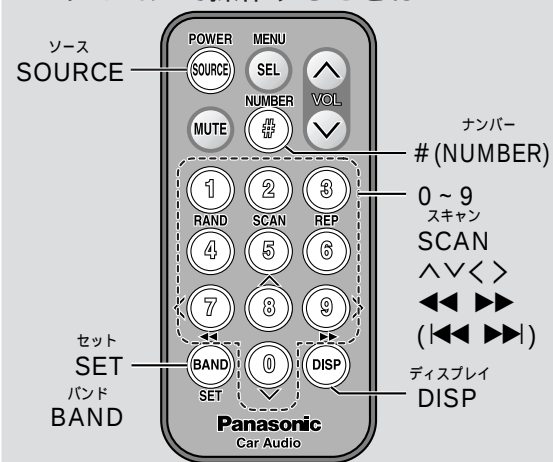
- CDチェンジャー
CD-R/RWは機種により再生できないものがあります。MP3やWMAなどには対応していません。
- MDチェンジャー
MDLPおよびMDグループ機能には対応していません。(MDLPは無音で再生されます。)

ディスクの取り扱いについては、38ページをご覧ください。

お知らせ

- チェンジャーを2台接続しているときは、チェンジャー番号が表示されます。
例：CDチェンジャーの場合
- チェンジャーモードでは、再生を一時停止できません。

■ リモコンで操作するときは



いろいろな再生

ディスクを番号で選び再生する
(ダイレクトディスク選択)

リモコン操作のみ

1 #を押す

- ダイレクトディスク選択モードになります。

2 10キーでディスク番号を入力する 例) ディスク番号10: 1 0を押す

3 BANDを押して決定する

- 選んだディスク先頭の曲から再生が始まります。

お知らせ

- ダイレクトディスク選択モードを終了するには DISP を押す
- チェンジャーモードでは、ダイレクトトラック選択はできません。

曲/ディスクを探す
(スキャン)

リモコン操作のみ

全ての曲

各ディスクの1曲目

SCAN 5を押す

(SCAN が点灯します。)

- 各曲を約10秒ずつ再生します。
- 再度押すと、解除されます。

1周すると

- 解除されます。(もとの曲の先頭に戻る。)

SCAN 5を2秒以上押す

(D-SCAN が点灯します。)

- 各ディスクを約10秒ずつ再生します。
- 再度2秒以上押すと、解除されます。

1周すると

- 解除されます。(もとのディスクの先頭に戻る。)

チェンジャーを2台使うには (ツインチェンジャー)

準備 別売のツインチェンジャーコントロールユニット(品番: CA-LA9D)で、CDチェンジャー/MDチェンジャーを2台接続してください。(49ページ)

BANDを押す

- 押すごとに、チェンジャー番号1/2が切り替わります。

チェンジャー番号1を選択している場合



チェンジャーでCD/MDを聞く

MDのタイトルを表示させる

モード画面表示中に
DISP を2秒以上押す

- 2秒以上押すごとに切り替わります。



タイトルを
スクロールさせるには

タイトル表示中に
BAND ARM を2秒以上押す
• 1周スクロールします。

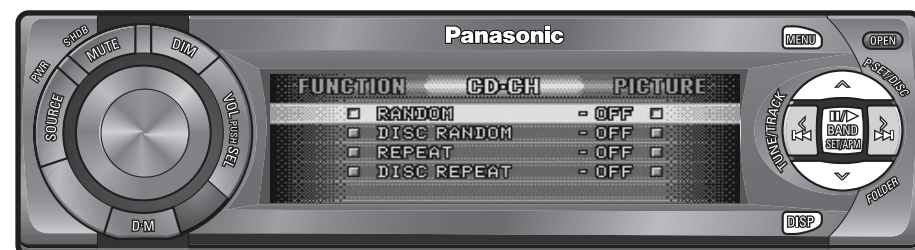
「NO TEXT」と表示されたときは
タイトル情報が記録されていません。

MDのタイトル表示について

- タイトル情報は、カナ・英数字を表示できます。
- スクロール時で、最大64文字表示できます。
- 正しく表示できない文字は、* (アスタリスク) 表示になります。

CDチェンジャーは、タイトル(テキスト)を表示できません。

チェンジャー再生メニューを使う(ランダム・リピート)



- 1 チェンジャー再生中に、MENU を押す
- 2 項目を選ぶ
- 3 BAND ARM で ON/OFFを切り替える

- チェンジャー再生メニューが表示されます。

リモコンの場合はSEL 2秒以上押す

順不同に聞く (ランダム)	全ての曲	RANDOM	ON (RAND が点灯します。) OFF
	再生中のディスク	DISC RANDOM	ON (D-RAND が点灯します。) OFF
繰り返し聞く (リピート)	再生中の曲	REPEAT	ON (REP が点灯します。) OFF
	再生中のディスク	DISC REPEAT	ON (D-REP が点灯します。) OFF

リモコンでのダイレクト操作

チェンジャー再生メニューを終了してから操作してください。

RAND 4 を押す
• 再度押すと、解除されます。

RAND 4 を2秒以上押す
• 再度2秒以上押すと、解除されます。

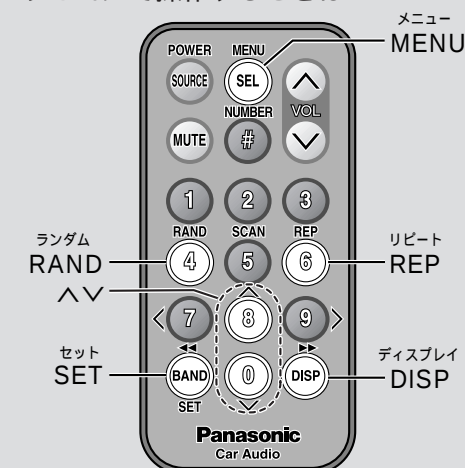
REP 6 を押す
• 再度押すと、解除されます。

REP 6 を2秒以上押す
• 再度2秒以上押すと、解除されます。

お知らせ

- チェンジャー再生メニューを終了するには
MENU または DISP を押す
(リモコンの場合はSEL を2秒以上押す。)
- チェンジャー再生メニューが表示されているときは、再生中のソースの操作ができません。
終了してから行ってください。
- スキャン再生(曲/ディスクを探す)は、リモコンで操作してください。(P.27ページ)

リモコンで操作するときは



他の機器の音声を聞く (AUX)

準備 本機の外部音声入力コード (AUX-IN) に、他の機器 (インダッシュTVなど) を接続してください。



1 を押して、AUXモードにする

- 本機の外部音声入力コード (AUX-IN) に接続した機器の音声が、出力されます。
- 操作のしかたは、接続した機器の取扱説明書をご覧ください。

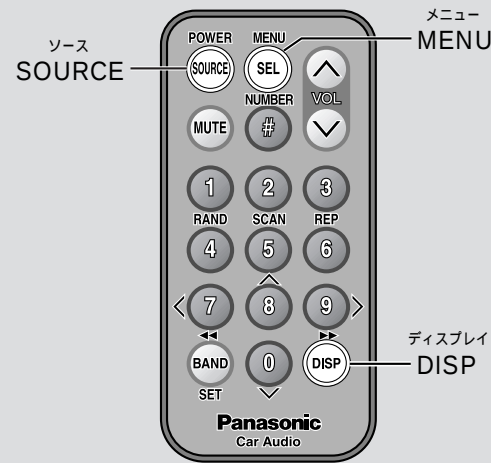
お知らせ

- AUXモードには、再生メニューがありません。以下のように表示されますが、画面設定/機能設定は行えます。



AUXモードに戻すには
MENU または DISP を押す
(リモコンの場合は SEL を2秒以上押す。)

リモコンで操作するときは



ダイレクトメモリーを使う

電源が切れているときでも、どのモードからでも、ボタン一つで交通情報を受信できます。
(ダイレクトメモリー)
また、好きな放送局を記憶させることもできます。(初期設定: AM 1620 kHz)

交通情報などを受信する
(ダイレクトメモリー呼び出し)

本体操作のみ

D-M を押す

- 記憶されている放送局を受信します。
- 再度押すと、もとのソースまたは電源OFFに戻ります。



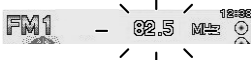
ダイレクトメモリーに
放送局を記憶させる

本体操作のみ

1 バンドと周波数を選ぶ
(14ページ)

2 D-M を2秒以上押す

- 受信している放送局が上書きされ、更新されます。

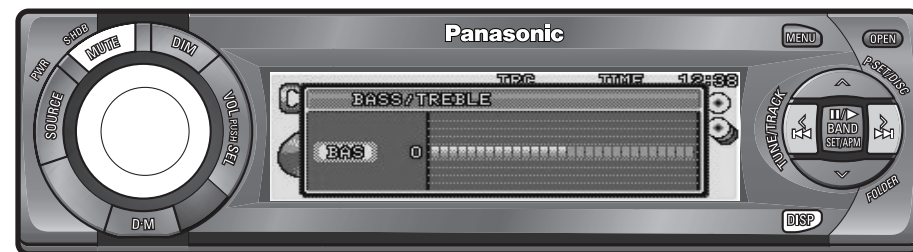


お知らせ

- 以下の操作をすると、ダイレクトメモリーは解除され、もとのソースに戻ります。
- 電源またはACC (車のアクセサリ電源) をOFFにしたあと、再度ONにしたとき
 - ソースを切り替えたとき

使う

ダイレクトメモリーを使う
他の機器の音声を聞く(AUX)



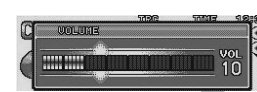
1 押して項目を選ぶ

モード 例: CD
CD 01 020 18:00

2 回して調整する

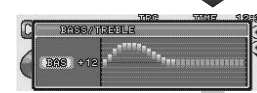
音量を調整する
(ボリューム)

• モード画面のままでも
ボリューム調整できます。
(13ページ)



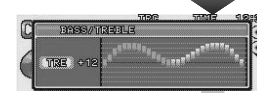
[VOL ^]: 音量を上げる 初期設定: 18
[VOL ∨]: 音量を下げる 調整範囲: 0 ~ 40

低音域のレベルを調整する
(バス)



[VOL ^]: 低音域が強調される 初期設定: 0 dB
[VOL ∨]: 低音域が低減される 調整範囲: -12 dB ~ +12 dB
(2 dBごと)

高音域のレベルを調整する
(トレブル)



[VOL ^]: 高音域が強調される 初期設定: 0 dB
[VOL ∨]: 高音域が低減される 調整範囲: -12 dB ~ +12 dB
(2 dBごと)

左右のスピーカーの
音量バランスを調整する
(バランス)



[VOL ^]: 右側が強調される 初期設定: 0 (センター)
[VOL ∨]: 左側が強調される 調整範囲: LEFT/RIGHT
各15ステップ

前後のスピーカーの
音量バランスを調整する
(フェダー)



[VOL ^]: 前方が強調される 初期設定: 0 (センター)
[VOL ∨]: 後方が強調される 調整範囲: FRONT/REAR
各15ステップ

低音域を増強する
(スーパー・ハイデフィニションバス)

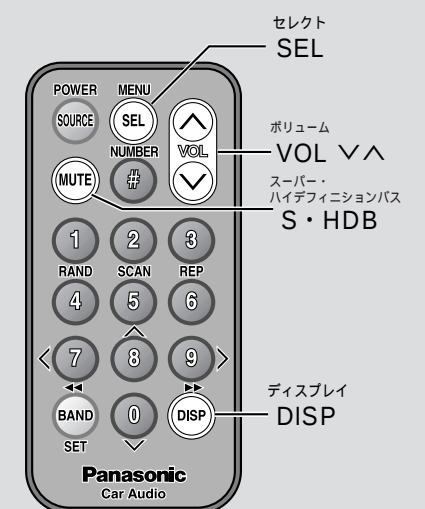
を2秒以上
押す
• 2秒以上押すごとに
切り替わります。

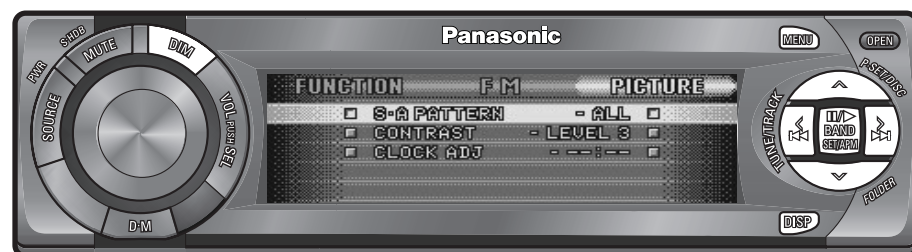
S-HDB OFF 通常の出力(初期設定)
↓
S-HDB BOOM 低音を強く強調
(BOOMが点灯します。)
↓
S-HDB TIGHT 低音を中程度に強調
(TIGHTが点灯します。)

お知らせ

- 音質調整を終了するには
DISP を押す
- 手順①のあと、約5秒間(ボリュームは
約2秒間)何も操作しないと、音質調整
が解除されます。

リモコンで操作するときは





1 MENU を押す

リモコンの場合は SEL を2秒以上押す

背景画面を選ぶ
(スペアナパターン)

表示のめりはりを
調整する
(コントラスト)

時計を調整する

2 左 または 右 で選ぶ

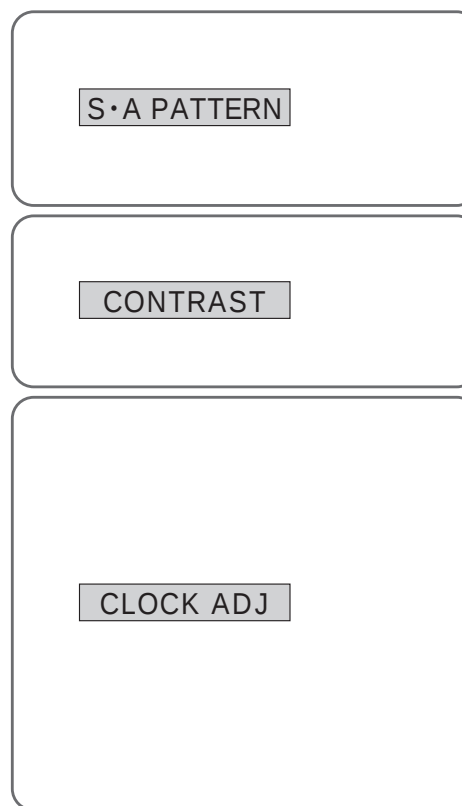
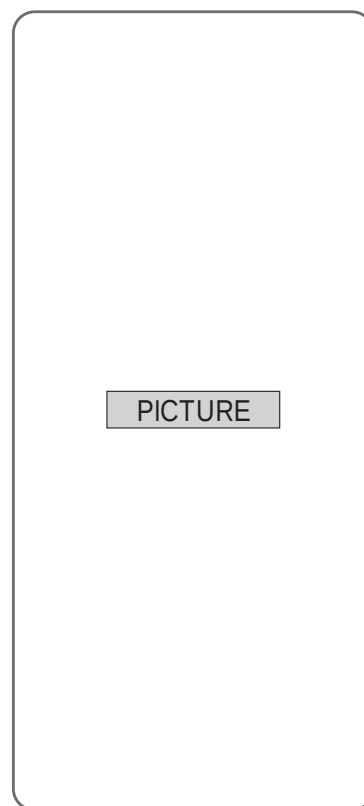
3 上 または 下 で選ぶ
ENTER で決定する

4 左 または 右 で選ぶ

ENTER を押すと、手順3の画面に戻ります。

お知らせ

- 画面設定を終了するには
MENU または DISP を押す
(リモコンの場合は SEL を2秒以上押す。)
- ラジオ/AUXモードには、再生メニューがありません。
以下のように表示されますが、画面設定/機能設定は行えます。



ALL : パターンA~Eがランダムに表示されます。(初期設定)
A : F1
B : サッカー
C : 宇宙空間
D : スノーボード
E : マウンテンバイク
STD : 25バンドスペアナ

取り付け位置や角度に応じて、表示が見やすくなるように調整してください。
初期設定 : 3
調整範囲 : 1 (視野角を下げる) ~ 5 (視野角を上げる)

初期設定 : 未調整のとき「0:00」(24時間表示)
1 左 : 「時」に切り替える
右 : 「分」に切り替える
2 上 または 下 を押して調整する
3 ENTER を押して決定する
・秒が0になり、時計が動き始めます。

バックライトの
明るさを選ぶ
(ディマー)

本体操作のみ

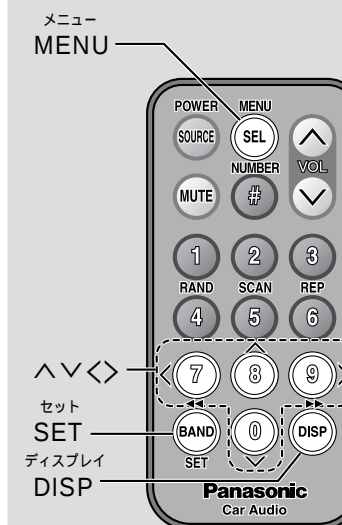
準備 イルミネーションコードを車のスモールランプと連動する電源へ接続してください。(48ページ)
車のスモールランプ点灯時 / 消灯時で、それぞれの表示の明るさを設定してください。
調整範囲 : 3段階 初期設定 : 点灯時 DIMMER 2
消灯時 DIMMER 3

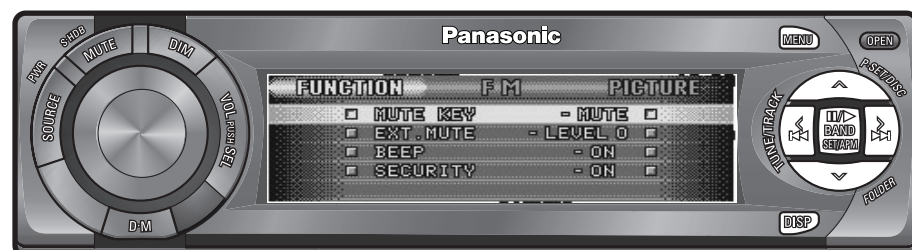
DIM を押す

・押すごとに切り替わります。



リモコンで操作するときは





- 1 MENU を押す
- 2 左または右で選ぶ
- 3 上または下で選ぶ
- 4 BAND/AMP で切り替える

リモコンの場合は SEL を2秒以上押す

MUTEボタンを押したときの
音量の下がりかたを選ぶ
(ミュート/アッテネータ)

カーナビ音声案内中の
本機の音量を選ぶ
(ナビミュートレベル)

準備 ナビミュートコードを接続
してください。(P.50ページ)

ボタンを押した音(操作音)を
出す/出さないを選ぶ
(ビープ音)

セキュリティ機能を
使用する/しないを選ぶ
(セキュリティ)

FUNCTION

MUTE KEY

EXT. MUTE

BEEP

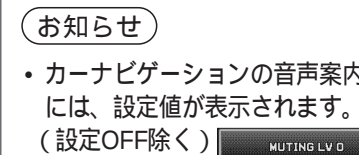
SECURITY



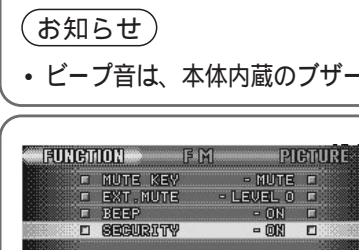
MUTE : 音量が「0 (消音)」になる (初期設定)
ATT : 音量が10ステップ下がる



OFF : 通常の音量のまま
LEVEL 0 : 本機の音量が「0 (消音)」になる (初期設定)
LEVEL 1 : 本機の音量が15ステップ下がる
LEVEL 2 : 本機の音量が10ステップ下がる



ON : 操作音を出す (初期設定)
OFF : 操作音を出さない



ON : セキュリティ機能を使用する (初期設定)
OFF : セキュリティ機能を使用しない

セキュリティメッセージ

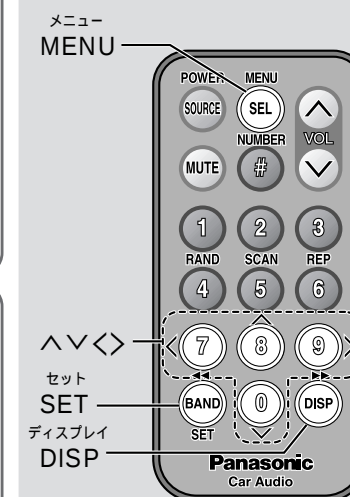
PLEASE REMOVE PANEL

お知らせ

- 機能設定を終了するには
MENU または DISP を押す
(リモコンの場合は SEL を2秒以上押す。)
- ラジオ/AUXモードには、再生メニューがありません。
以下のように表示されますが、画面設定/機能設定は行えます。



リモコンで操作するときは



- セキュリティ機能
ACC (車のアクセサリ電源) をOFFにしたときに
・セキュリティメッセージが表示され、パネル取り忘れアラームが鳴ります。
パネルを取りはずすと
・盗難防止用のセキュリティLEDが点滅します。(P.39ページ)

ディスクの取り扱いについて・お手入れのしかた

CD (コンパクトディスク)



のマークが付いているものをご使用ください。

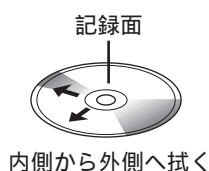
持ちかた

ディスクのセンターホールと外周部分を持ちます。



CDが汚れたら

水を含ませた柔らかい布で拭いたあと、乾いた布で拭いてください。



⚠ 注意

特殊形状のCDやCDアクセサリは使用しない



禁止

特殊形状（ハート型・八角形・カード型など）のCDやプロテクトフィルム・スタビライザーなどのCDアクセサリを使用すると故障の原因になります。

シール・ラベル・テープなどを貼り付けたCDは使用しない



禁止

本機の中で引っかかるなど、故障の原因になることがあります。特に市販のプリンターで作成したラベルなどを貼り付けたCD-R/RWは、使用しないでください。

著作権について

音楽などの著作物を個人的に楽しむ場合などを除き、著作権利権者の許諾を得ないでディスクに複製（録音）配付、配信することは、著作権法で禁止されています。十分ご注意ください。

取り扱いのお願い

CDそのものの破損、および機器の故障の原因になることがありますので、次のことをお守りください。

- ・記録面に手を触れない
- ・CDが回転する方向に拭かない
- ・ベンジン、シンナー、レコードクリーナー、静電防止剤で拭かない
- ・CDを曲げない、キズを付けない
- ・鉛筆やボールペンなどで字を書かない

CD-R/RWディスクのご使用について

CD-DA、MP3、WMA以外のデータ（ビデオCDなど）は、再生できません。

- ・CDレコーダー（CD-R/RWドライブ）で記録したCD-R/RWディスクは、その特性・汚れ・指紋・キズなどにより、再生できない場合があります。
- ・CD-R/RWディスクは通常の音楽CDに比べ高温多湿環境に弱いので、長時間の車内環境において劣化し、再生できない場合があります。
- ・CD-R/RWディスクの取り扱いについては、ディスクの使用上の注意書きをよくお読みください。
- ・クローズセッションされていないCD-R/RWディスクは再生できません。

コピーコントロールCDについて

パソコンなどによるコピー防止を目的にコピーコントロールが施された音楽CDが発売されています。これは、現状CD規格に合致しないディスクであり、本機での再生は保証致しかねます。通常のCDを用いた再生には支障がなく、コピーコントロールCDを用いた再生にのみ支障がある場合は、コピーコントロールCDの発売元にお問い合わせください。

CDの保管について

長時間使用しないときは

- ・必ず本機から取り出してください。
- ・ゴミ・ほこりなどの汚れやキズ・そりなどを避けるため、必ずケースに入れて保管してください。

次のような場所に置かないでください

- ・長時間直射日光のあたるところ（車のシート、ダッシュボードの上など）
- ・暖房器具の熱が直接あたるところ
- ・湿気やゴミ・ほこりの多いところ
- ・腐食性のある外気にふれるところ
- ・強い静電気・電氣的ノイズの発生しやすいところ

パネルのお手入れについて

パネルが汚れたときは

- ・電源を切ってから、乾いた柔らかい布で拭いてください。
- ・ベンジンやシンナー類を使うとケースや塗装が変質しますので、使用しないでください。
- ・化学ぞうきんをご使用になる場合は、使用上の注意をよく読み、必ずお守りください。



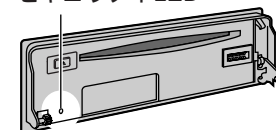
使用しない

パネルを脱着する

車から離れるときにパネルを取りはずすと、盗難を防ぐことができます。（デタッチャブルフェイス）

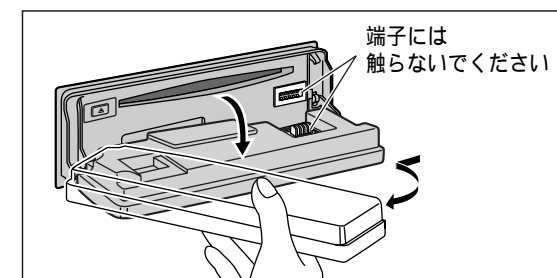
- ・パネルを取りはずしたままでは電源が入らず、操作できません。
- ・パネルを取りはずすと、盗難防止用のセキュリティLEDが点滅します。

セキュリティLED



取りはずしかた

- 1 本機の電源を切る
- 2 **OPEN** を押して、パネルを開く
- 3 パネルを左に押しながら、手前に引く



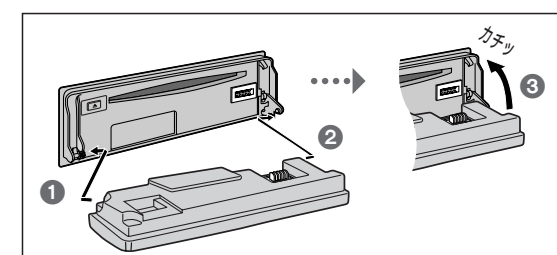
端子には触らないでください

取りはずしたパネルは

- ・破損しないように乾いた柔らかい布で包むなどして保管してください。
- ・衝撃を与える、落とすなどしないでください。
- ・気温が上がるダッシュボードやその周辺に、置かないでください。
- ・故障の原因になりますので、水をかけたり、湿気の多いところに置かないでください。（パネルは防水されていません。）

取り付けかた

- 1 パネルの左側を本体に差し込む
- 2 左に押しながら、パネルの右側を本体にはめる
- 3 パネルを閉じる



お願い

- ・本体とパネルの接点（端子）には触らないでください。電氣的な接触不良を起こす原因になります。汚れやごみなどがついたときは、清潔な乾いた布で拭いてください。

故障かな!?

症 状	原 因 と 処 置	ページ
● 電源・共通		
電源が入らない	- 車のエンジンをかけてください。(「ACC ON」でも可) - 各コードの接続を確認してください。 - 本機、または接続した機器のヒューズが切れている。 → お買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」(別紙) にヒューズの交換を依頼してください。	12 48 -
音が出ない	- 音量を上げてください。 - ミュートが「ON」になっている。→ 「OFF」にしてください。 - 結露している。→ しばらく放置してから使用してください。 - 各コードの接続を確認してください。 ナビミュートコードを接続しないときは、キャップ(ビニールテープ)で絶縁してください。	13 13 - 48
音声のみで、画面がでない	画面が「消灯」になっている。 → 他の画面に切り替えてください。	13
ボタンを押しても、各ソースの操作ができない	各種設定画面が表示されている。 → 各種設定画面を終了してから操作してください。	-
雑音が出る	- 携帯電話などを本機から離してください。 - アースコードがしっかりと車体の金属部に接続されているか確認してください。	8 48
画面と音声が異なっている	画面を切り替えて、デモンストレーションを解除してください。	12
● リモコン		
ボタンを押しても動作しない	⊕面を電池ケースの表示に合わせてください。 - 電池が消耗している。→ 交換してください。 - リモコン受光部に向けて操作してください。	9 9 10
● ラジオ		
ノイズが多い	- ラジオアンテナが十分に伸びているか確認してください。 - オートアンテナコントロールコードの接続を確認してください。 - 放送局の電波が弱い。→ 放送局を変えてください - ラジオアンテナの基台部分がしっかりと車体に取り付けられているか(アース接続)を確認してください。	- 48 14 -

症 状	原 因 と 処 置	ページ
● CD		
CDを入れても音が出ない(再生できない)	- CDを正しい面に入れなおしてください。 - 音楽用の(録音されている)CDを使用してください。 - 使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって、正しく再生されない場合があります。	16 38 16
音質が悪い(音がとぶ)	- CDの汚れをクリーニングしてください。 - 本機の取り付けを確認してください。 → 角度を30°以内に調整し、振動しないようにしっかり取り付けてください。	38 46
タイトル(CDテキスト)が正しく表示されない	CDの汚れをクリーニングしてください。	38
再生経過時間は表示されているが、音が出ない	ミックスモードのディスクの第1トラックを再生した。 (ミックスモードとは、第1トラックに音楽以外のデータ、第2トラック以降に音楽データが、1セッションで記録されているフォーマットです。) → 第2トラック以降の音楽データを再生してください。	-
● MP3/WMA		
CDを入れても音が出ない(再生できない)	- MP3ファイルには、必ず拡張子「.mp3 (.MP3)」を、WMAファイルには、必ず拡張子「.wma (.WMA)」を付けてください。 - CDを正しい面に入れなおしてください。 - 使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって正しく再生されない場合があります。	24~25 16 20
音質が悪い(音がとぶ)	- CDの汚れをクリーニングしてください。 - 本機の取り付けを確認してください。 → 角度を30°以内に調整し、振動しないようにしっかり取り付けてください。 - 音質は、使用したエンコーダソフトやビットレートの設定などにより異なります。詳しくは、エンコーダソフトの説明書をご覧ください。 - 低倍速で、再度データを書き込んでください。	38 46 - -
ファイル名/フォルダ名が正しく表示されない	- 規格に準拠した文字種・文字数で入力してください。 - 使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって文字などが正しく表示されない場合があります。	24~25 20

症 状	原 因 と 処 置	ページ
● MP3/WMA		
ID3 Tag/WMA Tagが正しく表示されない	- 文字コードを切り替えてください。(MP3のみ) - ID3 Tag/WMA Tagは、規格に準拠した文字種・文字数で入力してください。 - 使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって、文字などが正しく表示されない場合があります。	23 24~25 24~25
再生経過時間の表示が実際と一致していない	- 再生中に早戻し/早送りをした、または「ACC OFF」にした。 → 他のファイルを再生すると、正常に戻ります。 - 可変ビットレート(VBR)で記録されたファイルは、再生経過時間が正しく表示されない場合があります。	20 24~25
再生するまで時間がかかる	ディスクに記録されているフォルダ/ファイル階層が多い。 → ファイルのチェックに時間がかかる場合があります。 MP3/WMA以外のファイルや必要ないフォルダなどは、書き込まないようにしてください。	24~25
順番どおりに再生されない	再生させたい順番どおりに、書き込まれていない。 → ファイル名の頭に「001」~「255」などを入力することで順番を設定できるライティングソフトもあります。	24~25
● 音質調整		
左右前後の何れかの音が出ない	- 左右前後のバランスを調整してください。 - 各コードの接続を確認してください。	32 48
外部アンプから音が出ない	- フェダーの音量バランスを確認してください。 - 各コードの接続を確認してください。	32 48
ステレオのとき、左右の音が逆になる	スピーカーコードの接続を確認してください。	48
ピープ音が出ない	ピープ音設定を確認してください。	36

こんなときは故障ではありません

結露について

- 雨の日やヒーターを入れた直後に再生すると、本機内部(CDプレーヤー)の光学系のレンズやディスクに露が生じて、正常な再生ができないことがあります。このようなときは、ディスクを取り出して1時間ほど放置し、自然に露がとれるのを待ちください。

万一、故障や異常が起こったら

すぐに電源を切ってください。
煙が出ていないこと、熱くないことを確認してから電源の接続をはずし、お買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」(別紙)に修理を依頼してください。
お客様による修理は、絶対におやめください。

こんな表示が出たときは

表示例	原因と処置
● CD/MP3/WMA  ↓ 	- CDが汚れている、裏返しになっている。 - CDが音楽用でない、録音されていない。 → CDを確認してください。
 ↓ 	CDにキズが付いている。 → CDを確認してください。
 ↓ 	何らかの動作エラー（メカエラー）が起きた。 イジェクトボタンを押しても動作しない場合は、車のエンジンをかけなおすか、またはACC（車のアクセサリ電源）を入れなおしてください。それでも正常に戻らない場合は、お買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」（別紙）に修理を依頼してください。
	- 再生しようとしたが、何らかの原因で読み込めない。（本機が対応していないフォーマット、圧縮方式、データ形式などで記録されている。データが破損しているなど） → 自動的に次のファイルに切り替わります。 → ファイルを確認してください。 → データを確認し、ファイルを作りなおしてください。 - 選択したフォルダにMP3/WMAファイルがない（ダイレクト選択モード時） → MP3/WMAファイルがあるフォルダを選んでください。
	- 著作権保護されているWMAファイルを再生しようとした。 → 自動的に次のファイルに切り替わります。 → ファイルを確認してください。
	本機にCDが入っていない。 → CDを入れてください。

表示例	原因と処置
● チェンジャー  ↓ 	自動的に次のディスクに切り替わります。 - ディスクが汚れている、裏返しになっている。 - ディスクが音楽用でない、録音されていない。 - 再生できないディスクを使用している。 → ディスクを確認してください。
 ↓ 	自動的に次のディスクに切り替わります。 ディスクにキズが付いている。 → ディスクを確認してください。
 ↓ 	何らかの動作エラー（メカエラー）が起きた。 チェンジャーのイジェクトボタンまたはリセットスイッチを押しても動作しない場合は、車のエンジンをかけなおすか、またはACC（車のアクセサリ電源）を入れなおしてください。それでも正常に戻らない場合は、お買い上げの販売店、またはお近くの「ご相談窓口」（別紙）に修理を依頼してください。
	- チェンジャー（マガジン）にディスクが入っていない。 - チェンジャーにマガジンが入っていない。 → ディスクが入ったマガジンを入れてください。
	- ツインチェンジャーコントロールユニットは接続されているが、チェンジャーが接続されていない。 - チェンジャーモードのときに、本機とチェンジャーの接続がはずれてしまった。 → チェンジャーと本機との接続を確認してください。

取り付け・配線の前に

⚠ 警告

分解・修理、および改造をしない



分解禁止

分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのはやめてください。火災・感電、故障の原因になります。

配線・取り付け部品の確認

万一不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

● 配線関係

品 名	個数
電源コード	1

● 取り付け関係

品 名	個数
座付きねじ (M5 × 8 mm)	4
皿ねじ (M5 × 8 mm)	4
スペーサー	2
両面テープ	2

作業の順序

- 1 バッテリーの⊖端子をはずす。
- 2 配線する。(P48ページ)
 - 他の機器と接続する場合は、各機器の説明書も併せてよくお読みのうえ、配線してください。
 - ショート事故防止のため、電源コードのコネクターは、必ず全ての配線をすませてから接続してください。
- 3 取り付ける。(P47ページ)
- 4 バッテリーの⊖端子を、もとに戻す。

配線・取り付けの作業時には、安全のため必ず手袋を使用してください。

⚠ 注意

配線・取り付けは、専門技術者に依頼する



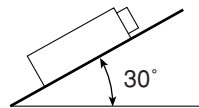
配線・取り付けには専門技術と経験が必要です。安全のため、必ずお買い上げの販売店に依頼してください。

取り付け部の寸法・角度の確認

● ダッシュボードの形状や寸法によって、取り付けられない場合やシフトレバーなどに接触する場合があります。詳しくは、販売店に相談してください。

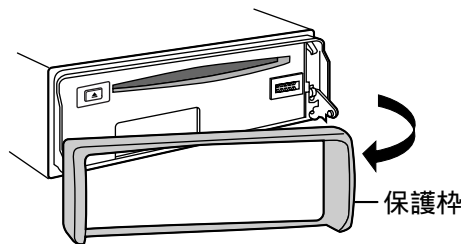
オーディオスペースがDINサイズまたは2DINサイズでない場合は、販売店に相談してください。
DINサイズ (横180 mm×縦50 mm)
2DINサイズ (横180 mm×縦100 mm)

● 水平に対して、30°以内の角度で取り付けてください。



配線・取り付け前に、輸送用の保護枠を取りはずしてください。

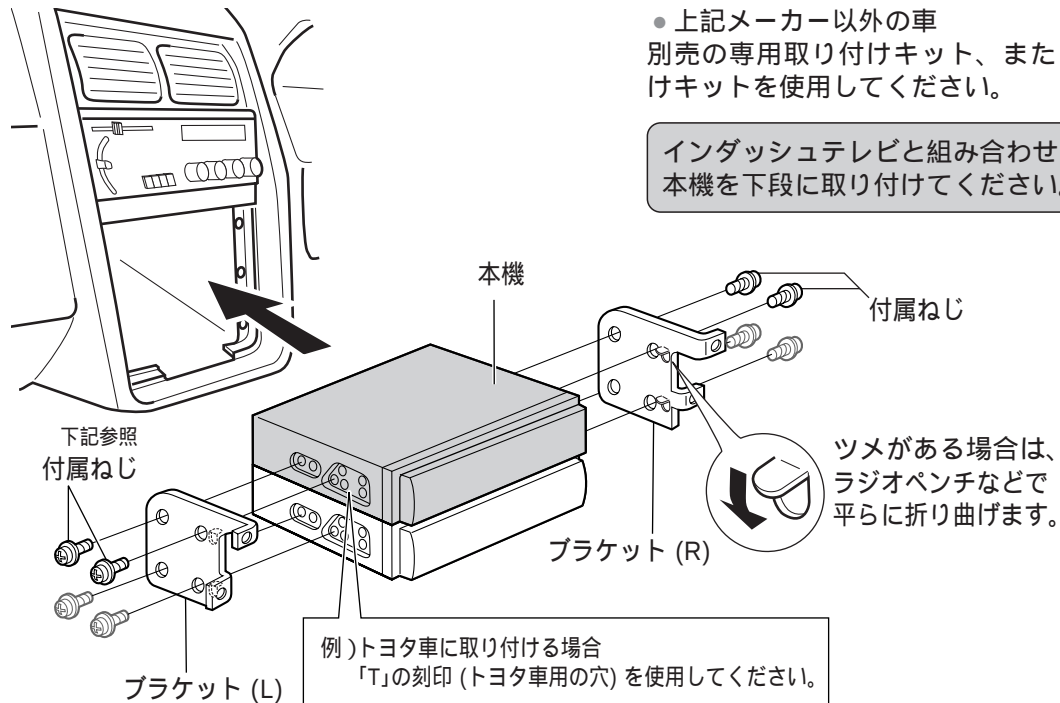
- 1 パネルをはずす
- 2 保護枠をはずす
- 3 パネルを取り付ける



● パネルのはずしかた/取り付けかたについては「パネルを脱着する」(P39ページ)をお読みください。

取り付けかた

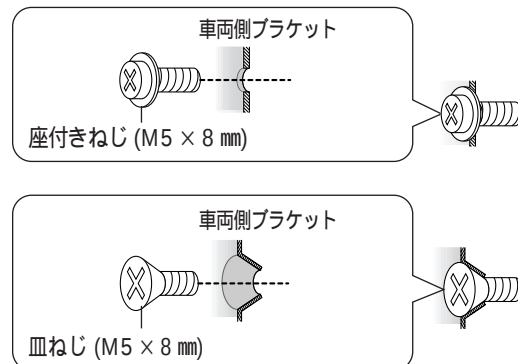
使用する取り付け金具(ブラケット)は、車両メーカーや車種ごとに形状や固定方法が異なります。詳しくは、販売店に相談してください。



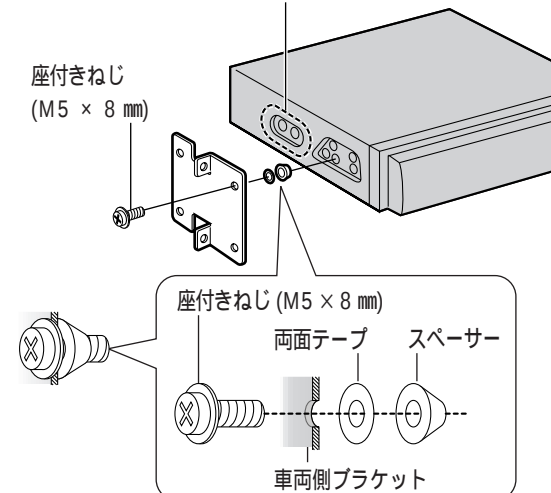
インダッシュテレビと組み合わせる場合には、本機を下段に取り付けてください。

- トヨタ車 (DINサイズ採用車)
純正のカーステレオを固定していたブラケットを使用してください。
- 日産・本田・三菱車 (DINサイズ採用車)
別売の車両メーカー別標準取り付けキット、または車種別の取り付けキットを使用してください。
- 上記メーカー以外の車
別売の専用取り付けキット、または汎用取り付けキットを使用してください。

- 必ず付属のねじをご使用ください。長さの異なるねじを使用しないでください。
- 付属のねじは、取り付け金具(ブラケット)の穴形状に合わせて選んでください。



- ブラケットが不安定な場合には、スペーサーで取り付けを補強し、固定してください。スペーサーは、この穴には使用しません

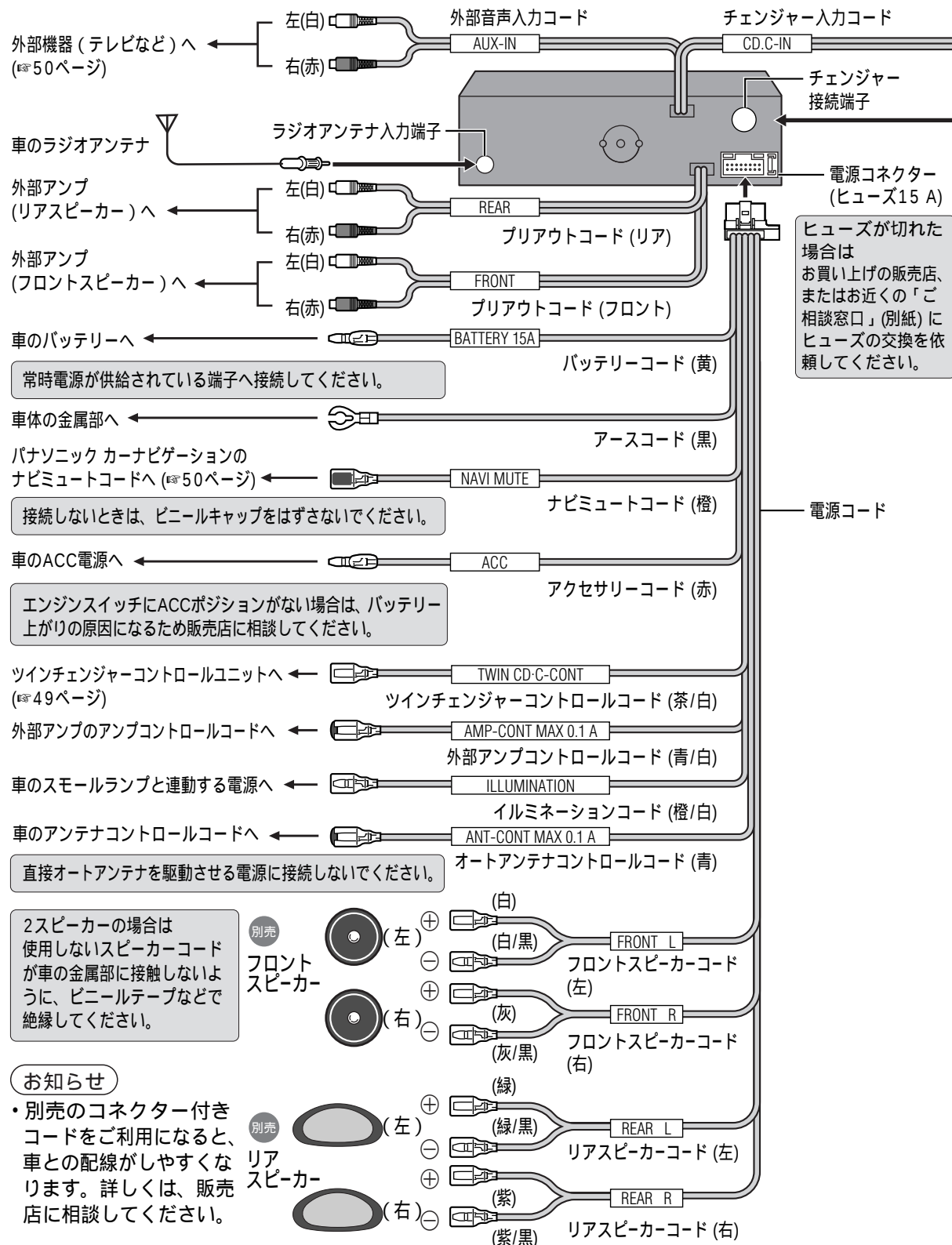


取り付け・配線の前に/取り付けかた

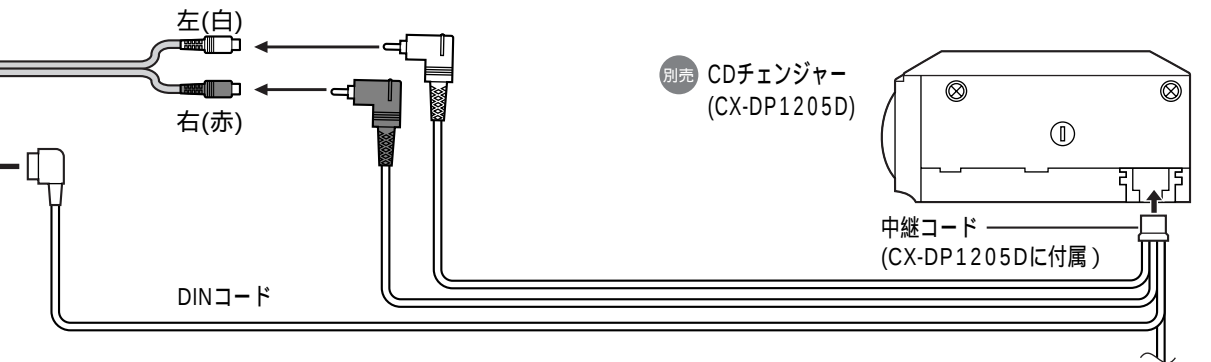
必要なときに

配線のしかた

ショート事故防止のため、電源コードのコネクターは、必ず全ての配線をすませてから接続してください。



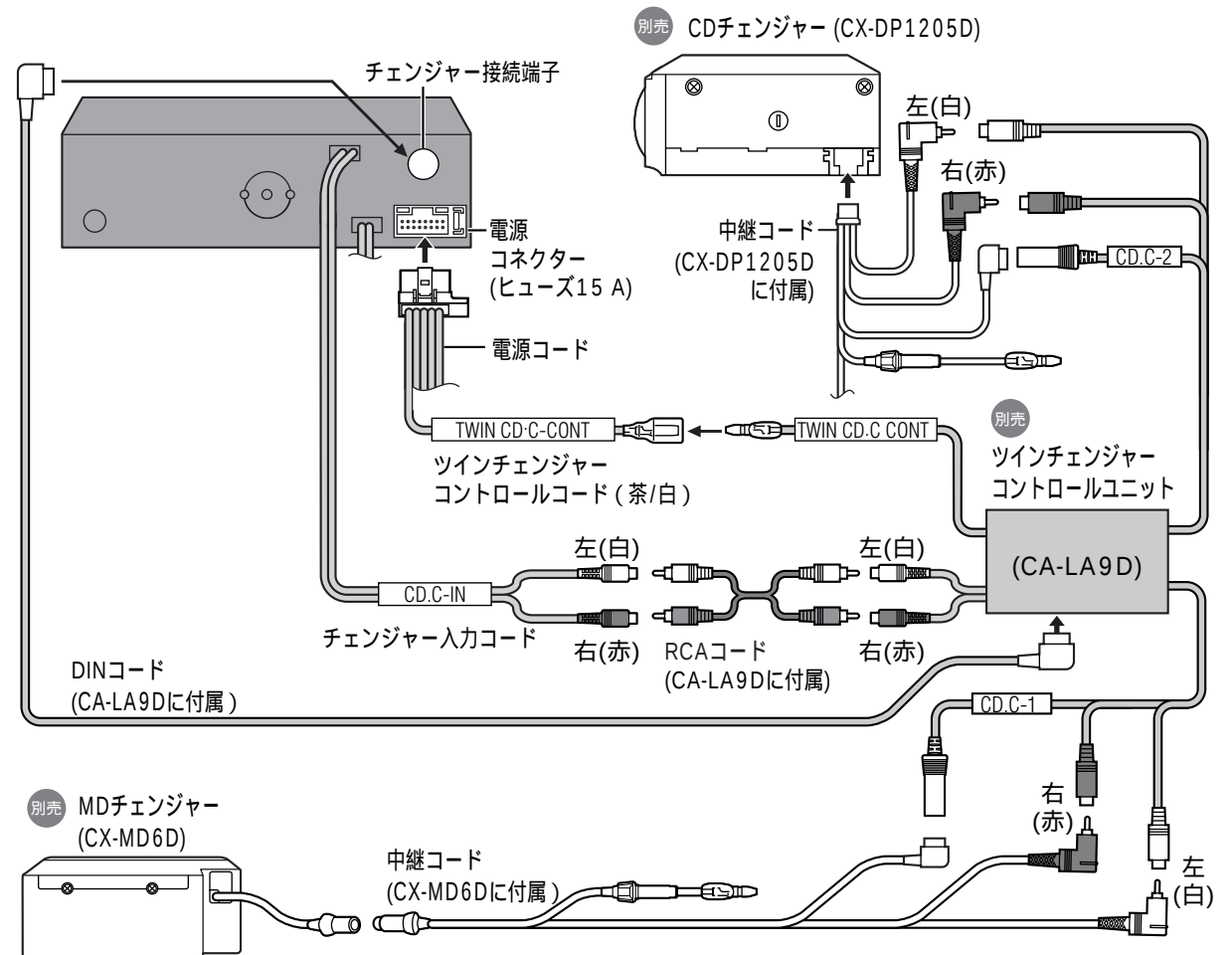
チェンジャーを接続する



2台のチェンジャーを接続する (ツインチェンジャー)

接続する各機器の説明書も、併せてご覧ください。

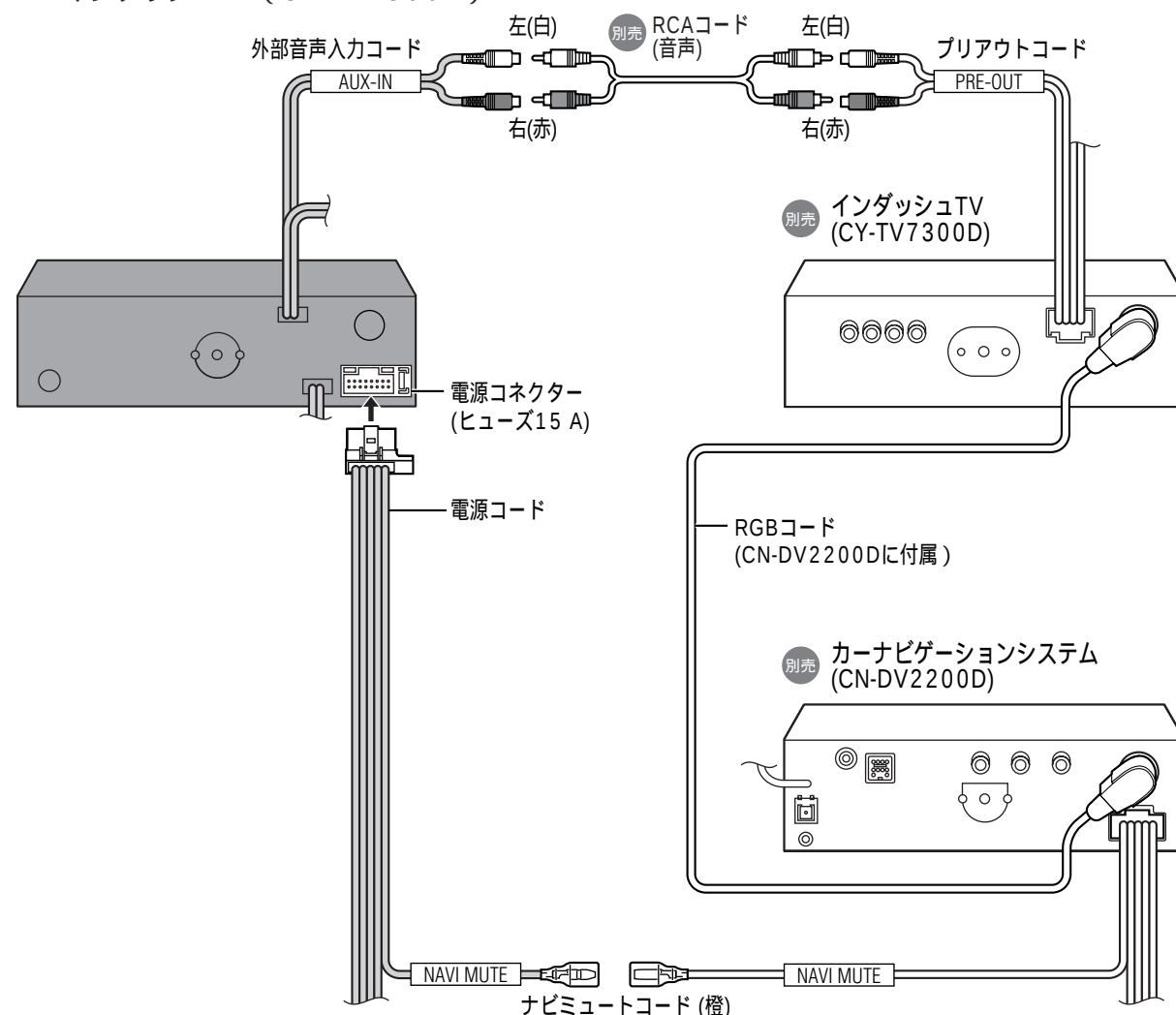
例：CDチェンジャー (CX-DP1205D) ツインチェンジャーコントロールユニット (CA-LA9D)
MDチェンジャー (CX-MD6D)



カーナビゲーション、インダッシュTVを接続する

接続する各機器の説明書も、併せてご覧ください。

例：カーナビゲーションシステム (CN-DV2200D)
インダッシュTV (CY-TV7300D)



共通

電源電圧	: DC12 V (11 V-16 V) ⊖アース (試験電圧14.4 V)
消費電流	: 8.5 A以下 (CD動作定格出力時)
定格出力	: 16 W × 4 CH (1 kHz、1%、4 Ω)
最大出力	: 50 W × 4 CH
適合スピーカーインピーダンス	: 4 ~ 8 Ω
音声入力インピーダンス	: 10 kΩ (AUX IN)
音声入力感度	: 200 mVrms (AUX IN)
最大入力レベル	: 2 Vrms (AUX IN)
プリアウト出力電圧	: 2 Vrms (CD)
プリアウト出力インピーダンス	: 200 Ω
外形寸法	: 178 × 50 × 155 (mm) (幅 × 高さ × 奥行き)
質量	: 1.6 kg

FMチューナー部

受信周波数	: 76.0 MHz ~ 89.9 MHz
実用感度 (SN比 30 dB)	: 10 dBf
SN比 (MONO)	: 70 dB
ステレオ分離度	: 35 dB
実効選択度 (±400 kHz)	: 75 dB

AMチューナー部

受信周波数	: 522 kHz ~ 1629 kHz
実用感度 (SN比 20 dB)	: 27 dB/μV
イメージ妨害比	: 65 dB

CDプレーヤー部

周波数特性	: 5 Hz ~ 20 kHz
信号対雑音比 (SN比)	: 90 dB (IHF、A)
ワウ・フラッタ	: 測定限界以下
MP3デコーダー	
・ビットレート	
MPEG 1	: 32 k ~ 320 kbps
MPEG 2	: 8 k ~ 160 kbps
・サンプリング周波数	
MPEG 1	: 32 kHz、44.1 kHz、48 kHz
MPEG 2	: 16 kHz、22.05 kHz、24 kHz
WMAデコーダー	
・ビットレート	: 64 k ~ 192 kbps
・サンプリング周波数	: 32 kHz、44.1 kHz、48 kHz

製品仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

- ・「NAVI」「ナビ」は登録商標です。
- ・Microsoft、Windows、Windows Mediaとそのロゴは、米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・Macintosh、Macは米国アップルコンピューター社の米国およびその他の国における登録商標または商標です。